



市章

広報 えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代)/〒243-04

世帯と人口	
昭和59年11月1日	
世帯	28,039世帯(+97)
人口	90,991人(+315)
男	46,739人
女	44,252人

毎月1日・15日発行

下絵から刷り上がりまで



＜骨書き＞下絵を基に、版木にはる紙に骨書きをする。細かくかかずに大事な線を写しとる。



＜版木作り＞線の外側に刀を入れていく(三角刀でもよい)。彫るときは図柄の真ん中を先に彫る。



＜着色＞むらのないように塗る(すりこむ)。多色の場合、見当に合わせて狂いのないように、色の薄いものから。



＜すり＞単色、多色刷り共に見当に合わせて刷る。色が薄い場合、見当に合わせて再度刷れる。

来年は



＜三色刷りの工程＞①赤②おうど③黒。黒は全体をひきしめるので一番後で塗る④版木

師走を迎えると、お歳暮の心配やら、大掃除やらで二家庭の主婦はもうろくに主人も土・日は大忙し。そんなごついでに忘れがちなのが年賀状。ふだん筆を持つことが少ない人は、そもそもどうなごこです。そこで楽しみながら、そしてもらった人にも喜ばれる木版画の年賀状を家族みんなで作ってみてはいかがですか。本紙では、公民館講座「親と子の木版画教室」の講師を務める坂田貞次郎さん(杉本小学校長、58歳)にご指導をお願いしました。

伝統の木版画に挑戦したら

楽しく“年賀状”

注意する物

版画刀、版木、パレン、絵の具はけを、いずれも文房具店・画材店で買われている。版画刀は五本一組千五百円ぐらいのもの。ただし、本格的に木版画に挑戦するならば版画刀を求めた方がよい。版木は桜、朴(ぼ)など。朴の木は柔らかくて彫りやすい。年賀状サイズで一枚百円前後。また厚いベニヤ板でもよい。絵の具は墨汁、ポスターカラー、油絵の具、版画用インクなど好きなもの。書道用の筆の先を三分の一ぐらいに切って使えばよい。

下絵が決め手

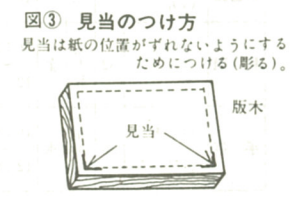
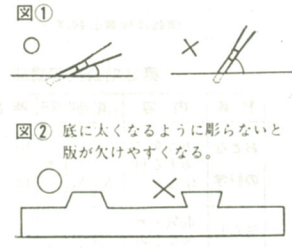
版画をやるには、何枚もスケッチをして、良い構図を決定する。配置に気をつけ、大小を定める。大きくても小さくてもあとで困らないように使えばよい。

線は底で太く

版木の下にタオルを二つ折りにして敷く。版をクルクル回して彫るのによいし、裏の板面に傷がつかない。刀は右手で握って左手を板の上にはいたり置き、手前に引く力を加える。

多色刷りも

絵の具は家庭にある、墨汁や水彩の具などなんでもよい。ア、単色の場合、ローラーまたははけでたっぷりぬる。まんべんなく版木についているか確認する。親指と人差し指を版木の角に当ててその年賀状の角を定めて全体をぬる。一度のせたら動かさない。そしてパレンでやる。イ、多色の場合、色別に版木を彫るのが本格的な方法だが、簡単な図柄なら版木一枚でもできる。一色一回ずつつめてアと同じ方法でぬるときは色の薄い方を先に。



7オピックス

特集 市民文化祭 産業まつり



ミュージカル「キャッツ」を熱演

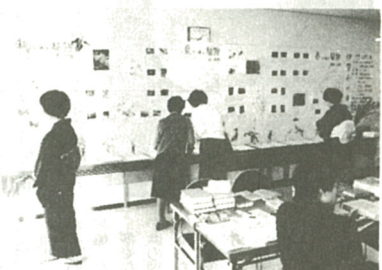
十月二十八日と十一月一日から四日までの五日間、市文化会館を中心に「市民文化祭」が、また十一月十一日に市役所で「産業まつり」が開かれました。「市民文化祭」は九十団体二千七百人が出演・作品展示に活躍し、二万人の来場者がありました。また「産業まつり」は七万三千人の来場者がありました。この二つの祭りのようすを市広報モニター「森辺美作紀さん、福井悦子さん」にレポートしてもらいました。

会館のホールに入る、息をのむような大輪の菊が清冽（れいれつ）な流れのようにはぐくめる。そこに和服姿の人が見える。いかにもこの場に合っていて新鮮だ。

盆栽のそばにいらした荒川元三さん（ごまごま）とタビユエにみる。

「このピラカンサは何年か、いい丹精なさいましたか？」

「二十二年くらい、一本百円で買ったのを今日まで世話をした」



「月曜と木曜の七時から」と舞台とは打って変わって取っつきそうな音方、それにしては目元の積み重ね、その文化祭の力になるんだと気づく。また、そのことが今年のスロークロームにもあやまに文化が人間を育てる、ということにつながってゆくのだと考えながら三階へ上る。

小さな机の上に並べられた夢のような絵本たち。これは手作り絵本、中には子供との台本もある。その場を離れ、長く時間をそとへ送る。

森辺美作紀(大谷)

「月曜と木曜の七時から」と舞台とは打って変わって取っつきそうな音方、それにしては目元の積み重ね、その文化祭の力になるんだと気づく。また、そのことが今年のスロークロームにもあやまに文化が人間を育てる、ということにつながってゆくのだと考えながら三階へ上る。

小さな机の上に並べられた夢のような絵本たち。これは手作り絵本、中には子供との台本もある。その場を離れ、長く時間をそとへ送る。

森辺美作紀(大谷)



雨模様で天気は薄日午前十時の開幕には、薄日さえもれる天候に変わり、今年の産業まつりのテーマ「明日に向かった海老名の産業」そのまの強い息吹が感じられるような幕開けとなった。

盛りだくさんの催しと会場の熱気に圧倒された。まず農産物の品評会の会場に足を向けた。丹精こめて作られた、一種の芸術作品と思わせる、色つやそして形のいい大根やニンジン、さらさらとした白菜、シオンなどの花コーナ。なぐわん、粕(かす)づけ、落花生などもあ。一等、二等賞が誇らしげについているものもあるが、さすがこれを見てみると、なんと午後からは即売されるといふからうれしい。

保険会社の運転正診断コーナには患者者が群

が、プロパンガス協会のアンケートに参加して正しいガスの使い方方を多くの主婦が再認識し、ゼロックスのコーナでは手形をコピーしてもらって子供たちが歓声をあげている。

一口に産業といっても広い意味があることを改めて痛感する。利き酒大会に首をひねる父親のそばで、試食会のおにぎりをおいしそうにほおぐ子供。べったんべったんと威勢のよいモチつきのおりに、はたさん家族連れ、豚汁、もつ煮などのサービスは健康な笑顔がな。

両手にかかえきれないくらいの新鮮な野菜を買った主婦。即売会の植木を丹念に見ているお年寄り。うれしそうに大きな福袋をさげている子供。ステーションでは、にぎやかなパティシエショーが人々の笑いを誘っている。

一人ひとりが思い思いに、おらが海老名の産業まつりに自然に溶けこみ、さわやかな秋の一日を楽しんでいるのを見受けられた。

福井悦子(浜田町)



いおりもっこう
庵 木瓜

江戸時代 大谷庄左衛門という豪商があり、地元の酒・雑貨・呉服などを商っていたが、江戸では差支をしたので隠然たる力を持ち、商業・工業界に幅をきかしていた。

苗字帯刀を許されて井上を名のり、神(かみしも)などには丸に矢車(やぐるま)の定紋を用いたが、裏定紋は庵木瓜(いおりもっこう)であった。

苗字帯刀を許されて井上を名のり、神(かみしも)などには丸に矢車(やぐるま)の定紋を用いたが、裏定紋は庵木瓜(いおりもっこう)であった。

猫の踊り場



第103話

代なので、よく間違えられた。そこで地元は、行延寺の本尊が観音様であることから、「いり」を観音寺と呼び区別した。この寺は市場地区東側の台地下、神明社北方、勝瀬東落との境にあり、

長い間無住で荒れ果てていた。その人家を壊された破れ寺から毎晩のように、にぎやかに踊りあわめく由やかねの音が聞こえてきた。

根下の園分境に斎藤という旧家があり、主人が三毛猫を飼って可愛がっていたが、いつも夕方になると姿を消すの注意している。ある日のたそがれ時、手ぬぐいを頭からかぶって裏口から出て行くのを見た。その後も「なな」とが二、三度あったので、主人は家中の手ぬぐいを全部かくしてしまった。その日の夕方、三毛はかぶる手ぬぐいがなくなっている。でもうろついていたら、やがてあきらめてしょんぼり出て行った。

見つかれにあとを「けいけい」と、例の荒れ寺の本堂に姿を消した。そこと様子を見ていた。正面にいた三毛をなげき、三毛が手ぬぐいがなくなったのを見ていておくれと弁解する三毛は、これをもから使え、いって新しい



「い」練習するの」

手ぬぐいをくれたので、三毛はこれをかぶっていっしょに踊り始めた。主人は怖くなって、その家へ帰った。翌朝、風呂場裏の新(まき)の手に庵木瓜を染めぬい新しい手ぬぐいが置いてあった。庄左衛門の大猫がくれたものである。この猫踊りは評判になったが、だれも見に行くものはなかった。観音堂が八軒庭に移された後、そのお地は長く踊りと呼ばれていたが、歴史資料「ことば奈良時代に著した男女が集まって歌壇うたがきを演じた踊った場所である」と発表された。猫の踊った話は採録された。

(注)歌壇とは上代男女が寄り集まって互いに歌をよみあひ、集団で踊って配偶者を探した行事。(小島直司氏「大谷」から寄稿されたもの)

年末年始

ごみ収集にご協力を

年末年始の収集日は下表の通り、年は通常と異なりまずのご注意を。通常の収集作業が月末または月初めのご家庭には十月二十九日(土)までに何卒予定。アパート・事業所など不定期収集の場合の申し込みは、十月二十日(木)までに電話または直接、美化衛生課(内2)へ。年始は一月四日(金)から業務開始。収集の申し込みはし尿と同じように十二月二十日(木)までに。年始は一月四日(金)から業務開始。

汚水 十二月二十日(木)までに。年始は一月四日(金)から業務開始。

年末年始ごみ収集日程

日程	年末(12月)		年始(1月)	
	燃えるごみ	燃えないごみ	燃えるごみ	燃えないごみ
中野田・さつき町河原口	27日(木)	18日(火)	4日(金)	8日(火)
上郷・下今泉	"	19日(水)	"	9日(水)
中河内・中野・社家今里・上河内・杉久保	"	21日(金)	"	11日(金)
本郷・門沢橋	"	"	"	"
国分・大谷・勝瀬	28日(金)	19日(水)	5日(土)	9日(水)
園分・合・浜田町・上今泉	"	20日(木)	"	10日(木)
柏ヶ谷・栗柏ヶ谷	29日(木)	17日(月)	6日(日)	7日(月)
望地	"	20日(木)	"	10日(木)

☆大掃除はお早めに

例年、大掃除をする家庭が年末に集中し、「ごみ収集車が一度にゴミの回収できないことがあります。田舎なゴミ収集をため、大掃除は早めをお願いします。」